



事業名 世界遺産登録でつながる近隣市町との連携による新たなツアーの造成



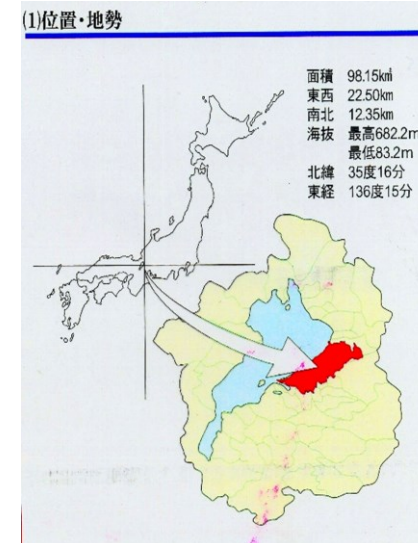
世界遺産でつながる まちづくりコンソーシアム



例) 彦根城夜間特別貸切



例) 屋形船乗船

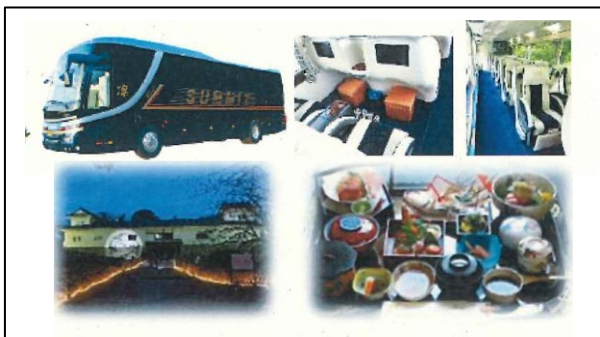


取組の概要

彦根城の世界遺産登録と登録後のまちづくりを推進する組織「世界遺産でつながるまちづくりコンソーシアム」を彦根城近隣の23団体によって、2021年11月17日に設立しました。今後、このコンソーシアムを中心として、地域を巻き込んでの機運醸成を行います。

また、各地にまつわる寺社仏閣の歴史講座の開催や、海外からの富裕層をターゲットにしたVIPツアーの造成、湖東・湖北地域の魅力ある場所をスチール写真で紹介していくサイト・SNS “Layered Omi”でのプロモーション等の取り組みにより、当該地域への誘客を促進します。

彦根城地域でVIP体験



彦根市では、2024年以降の彦根城世界遺産登録を目指しています。

彦根城の世界遺産登録と登録後のまちづくりを推進する組織「世界遺産でつながるまちづくりコンソーシアム」が、周辺5市と4町(※)の商工会議所、商工会、観光団体、一般社団法人近江ツーリズムボード、一般社団法人びわ湖の素DMOの23団体によって、2021年11月17日に設立しました。

2025年に開催される大阪・関西万博と連携した誘客はタイミング的にも、彦根市への誘客促進における大きなチャンスとなります。

当該コンソーシアムを中心に、ストーリーで結んだ滋賀県ならではのアドベンチャーツーリズムのプログラム造成等に取り組みます。

※5市：彦根・長浜・近江八幡・東近江・米原/愛知郡・犬上郡内の4町

“Layered Omi”プロジェクト



具体的には、彦根城の管理運営を担う近畿日本観光関西とのコラボ企画として、彦根城を基軸に周辺市町を面的に巡る専属案内人によるVIPコースを企画しています。当該コースは、一人当たり1泊30万円以上とする宿泊であっても抵抗がない高所得者をターゲットとしています。

また、ツアー造成と並行して地域の魅力を効果的に発信するため、2023年1月31日、彦根城の世界遺産登録推進と、その後の広域連携を目的とした、湖東・湖北地域の魅力ある場所をスチール写真で紹介していくプロモーションサイト・SNS “Layered Omi”が完成しました。現在、海外に多くのファンを持ち、Instagramのフォロワーは26万人を超えるフォトグラファー保井崇志(やすいたかし)氏をカメラマンに迎え、国内外に、世界遺産が存在する湖東・湖北のニュアンスを伝えていくとともに、広域連携によるプロモーションを活発化します。

<https://layered-omi.com/>

さらなる誘客に向けて



全国から100を超えるご当地キャラクターが集まる「ご当地キャラ博 in 彦根」など大きく注目されるイベントも毎年開催されており、これらのイベントの発信も含め、彦根の知名度をより高めていくことも重要です。

また、彦根城の世界遺産登録、および万博来場を契機に当地を訪れられる方々には、湖東・湖北の自然、歴史・文化、産業の魅力をより体感されるよう、できるだけ長く当地に滞在いただきたいという思いがあります。

コンソーシアムとの連携の下、宿泊施設や産業体験施設を充実することに加え、中心地の交通渋滞が起きないように「パーク・アンド・バス・ライド」の仕組みを設けたり、電車やバス等で円滑に移動ができるよう「MaaS (Mobility as a Service)」を構築するなど、誘客都市として観光客・住民がお互いに快適に過ごせるインフラを整備していきます。



問い合わせ先：滋賀県彦根市(彦根商工会議所)
世界遺産でつながるまちづくりコンソーシアム
URL：<https://owtc.jp>
Mail：info@hikone-cci.or.jp



360°EXPO拡張マップ

彦根商工会議所

世界遺産登録でつながる連携による新たなツアーの造成